

Hello! FUJISEI

No. 323

(公財)生命保険文化センターは、「平成28年度 生活保障に関する調査(速報版)」をまとめました。この調査は、人々の生活保障意識や生命保険の加入状況をはじめとした生活保障の準備状況を時系列で把握することを目的に、3年ごとに実施しています。

著名人のがん告白などが話題になっていますが、突然襲ってくるケガや病気に対する不安意識について見てみると、自分自身がケガや病気をする事についての不安の有無は、「不安感あり」90.1%で、内訳は「不安を感じる」と「少し不安を感じる」がそれぞれ3割を超え、「非常に不安を感じる」は2割を超えています。「不安感なし」は9.6%でした。

前回と比較すると、大きな差はありません。

「不安感あり」と回答した人の具体的な不安の内容をみると、「家族に肉体的・精神的負担をかける」が54.2%と最も高く、以下「長期の入院で医療費がかさむ」(53.6%)、「後遺症や障害が残る」(47.5%)の順となっています。

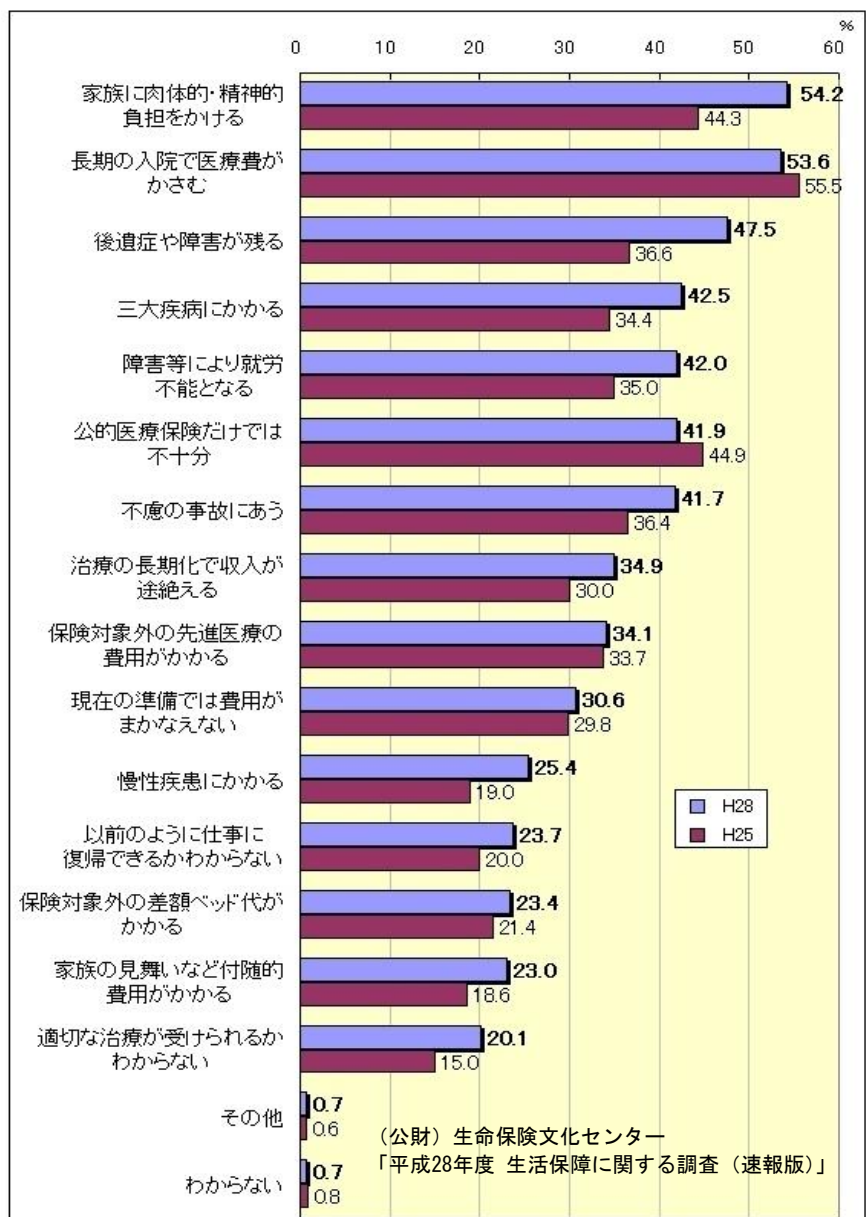
前回と比較すると、「後遺症や障害が残る」が10.9ポイント、「家族に肉体的・精神的負担をかける」が9.9ポイント、「障害等により就労不

ケガや病気に対する不安意識

家族にかかる負担、医療費の負担が心配

能となる」が7.0ポイント、それぞれ 療費負担に対する不安が上位となっ
れ増加するなど、多くの項目で増加 ています。
しています。家族にかかる不安や医

ケガや病気に対する不安の内容 (複数回答)



AIG富士生命保険株式会社

〒105-8633 東京都港区虎ノ門4-3-20
神谷町MTビル